

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2017年11月1日

各 位

株式会社東京証券取引所

第6回企業価値向上表彰に係るファイナリストの選定について

この度、「上場会社表彰選定委員会」（座長：一橋大学大学院・伊藤邦雄特任教授）の審議結果を受け、第6回企業価値向上表彰のファイナリスト（大賞候補会社）を選定しましたので、お知らせいたします。

ファイナリストに選ばれた4社は、資本コストをはじめとする投資者の視点を深く組み込んだ「企業価値向上経営」の実践を通じて、高い企業価値の向上を実現していると認められました。

今後、各社の経営陣に対する選定委員によるインタビューや投資者からの意見募集を行い、2018年1月を目途に大賞を決定する予定です。

【ファイナリストとして選定した上場会社】

会社名	証券コード	業種名	市場区分
株式会社ニチレイ	2871	食料品	市場第一部
住友化学株式会社	4005	化学	市場第一部
塩野義製薬株式会社	4507	医薬品	市場第一部
スズキ株式会社	7269	輸送用機器	市場第一部

(証券コード順に記載)

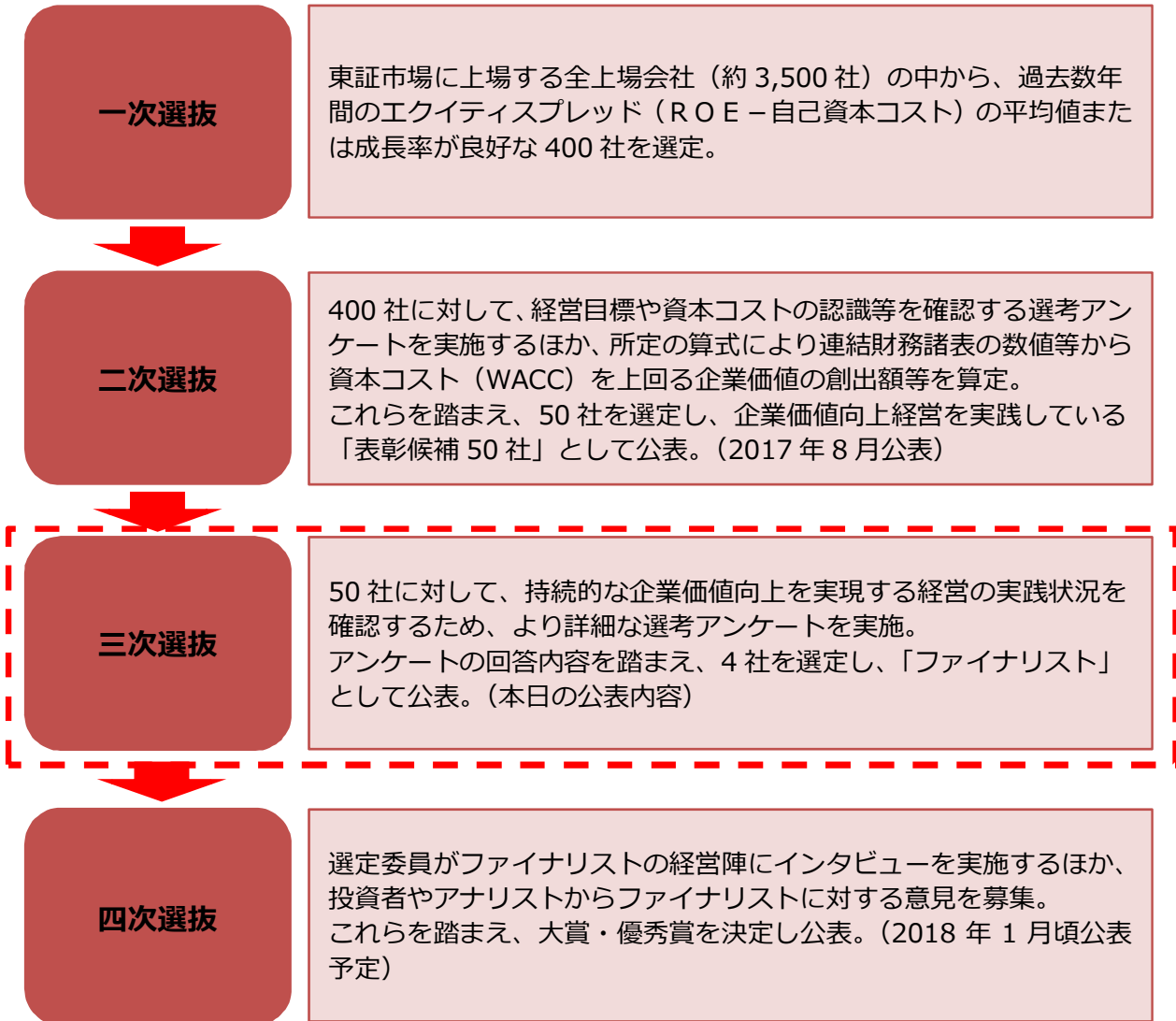
【参考】企業価値向上表彰について

企業価値向上表彰は、資本コストをはじめとする投資者の視点を強く意識した経営を実践し、企業価値の向上を実現している上場会社を表彰する取組みです。

本表彰の選定は、次表のプロセスに基づいて、有識者で構成される「上場会社表彰選定委員会」の審議により進められます。本表彰の概要や選定経過等については、特設ウェブサイト (<http://ps.nikkei.co.jp/tseaward2017/>) でもご紹介しています。

以 上

＜企業価値向上表彰の選定プロセス＞



＜上場会社表彰選定委員会＞

座長：	伊藤 邦雄	一橋大学 CFO 教育研究センター長 / 一橋大学大学院商学研究科 特任教授
委員：	澤上 篤人	さわかみ投信株式会社 取締役会長
委員：	スコット キャロン	いちごアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長

【本件に関するお問い合わせ先】

東京証券取引所 上場部 上場会社表彰選定委員会事務局
電話 050-3377-7012（直通）

第6回企業価値向上表彰 ファイナリストの選定の視点

2017年11月
上場会社表彰選定委員会事務局

上場会社表彰選定委員会では、企業価値を向上させる経営の手法は多様であることを十分に踏まえつつ、経済付加価値の創造において一般的に重要とされる「ベストプラクティス」に照らして各社の取組みを評価し、ファイナリスト（大賞候補会社）の選定を行いました。

選定委員会がファイナリストを選定するに当たり重視した視点は、以下のとおりです。

1. 資本コストの認識

- ・自社の資本コストの水準が適切に認識されているか

2. 経営方針・経営指標

- ・資本生産性を意識した経営指標（ROE、ROIC等）が活用されているか
- ・資本コストの水準を意識した経営目標が設定されているか
- ・自社の最適資本構成のイメージを持ち、それが社内で共有されているか
- ・投資者の視点を意識した利益処分方針・株主還元方針が策定されているか

3. 経営管理の仕組み

- ・新規投資の実行や既存事業の撤退に係る判断基準が策定されているか
- ・その判断基準に資本コストの概念が組み込まれているか
- ・新規投資の実行や既存事業の撤退に係る検討・判断のプロセスが明確化されているか

4. 評価報酬制度

- ・金銭報酬が業績と一定程度連動しているか
- ・業績評価に用いる管理指標に資本コストの概念が組み込まれているか

5. 企業風土の醸成

- ・自社の経営目標や資本コストの意識について社内で共有が図られているか

6. 投資者との建設的な対話

- ・投資者との対話で得た知見を経営にフィードバックする仕組みが構築されているか
- ・投資者との対話が実際に経営に活かされているか

上記の各項目を評価するに当たっては、投資者から付託された資金を有効に活用する経営の態勢が整備・運用されているか否かに着目して審議を行い、各社の企業価値の創造による国民経済への貢献の状況等も総合的に勘案しています。

以上